

キャリアNews No.17

個人の生き方・働き方が多様化する中で、組合員のなかには自身のキャリアで悩んでいる方もいます。もし相談があった時、私たち労働組合の執行委員はどのように対応したらいいのでしょうか。この「キャリアNews」では相談事例をもとにどのように支援すればいいのか、経験豊富なキャリアカウンセラーがアドバイスします。



相談事例 Qさん 入社7年目 一般事務

私は短大を卒業後、営業アシスタントとして営業の最前線の方々をサポートしてきました。サポートに関しては、誰にも負けない自負があります。ただ、会社は、営業アシスタントを近い将来廃止し、外回りの営業職を増やす方針を出しました。残業も多く、また外回りもしなければならぬ営業職には、正直言ってなりたくないです。でも、この会社が好きです。どうしたらいいのでしょうか。

～営業の最前線で営業アシスタントとして働くQさんは、近い将来自分の業務がなくなるという会社方針の話を聞いて、今後の自分の働き方について悩んでいるようです。～



キャリアカウンセラーとしての対応



問いかける

そこで、今までの仕事の内容や営業職に対する思いを尋ねると、Qさんは、仕事に対する思いや不安を語ってくれました。

Qさんの思い



- ・私は顧客電話対応からシステム活用支援、顧客説明資料の作成など、自分のアイデアを出し営業業務の改善を進めながら、現場を支えてきた。
- ・最近営業力強化を目的に新しい仕組み(システム)を導入したが、上手くいってない。
- ・そんな中、営業アシスタントがいなくなると現場の営業は大変困るだろう。
- ・お客様と関わりのある今の営業部門の仕事には、やりがいを感じている。
- ・直の営業は今まで経験がないので不安があり、ワーク・ライフ・バランスを大事にしたいので残業の多い仕事はやりたくない。



傾聴する

これまで自信を持って営業サポート職の仕事を務めてきたQさんは、自分の担当業務が近い将来なくなることを含めた今後の会社方針の話を聞いて、これからの自分の働き方に不安を感じて悩んでいるように見受けられました。

一緒に考える

その話を伺ったキャリアカウンセラーは、Qさんのこれまでの仕事に対する思いや、将来に対する不安を受容、共感しつつ、Qさんの今後のキャリア(自分らしい生き方・働き方)について一緒に整理しながら考えていきました。

その中でキャリアカウンセラーは、

- ・Qさんは、営業部門の一員として十分な仕事をされており、その仕事に対する姿勢は素晴らしい。
- ・入社7年を経過しビジネスの基本スキルを身に付け仕事も充実している今は、今後のキャリア(例. 3～5年後のありたい姿)を考える良い機会である。

との話を伝えたうえで、今後の働き方について改めてQさんに問いかけました。

問いかける

○今の状況(経営視点)

- ・テレワーク活用など最近の環境の変化の中、
 - Qさんから見た営業部門の働き方改革の課題や、新システム活用のポイント、営業で残業が多い人の特徴はどんなことか?
 - もし仮にQさんが営業だったら、どんな働き方やシステムの使い方をしたいか?

キャリアカウンセラーとしての対応



○将来への展望(キャリア視点)

- ・将来営業アシスタント業務がなくなった時、今の会社の中で
—Qさんの経験やスキルが活かせるような部署はどこか?
—あるいは、これから新たに組みみたい仕事はどんな事か?

などの問いかけや対話をしながら、今後のありたい姿(働き方・生き方)の選択肢をQさんと一緒に整理していきました。

具体的には、

今までの経験を振り返って、自分の価値観(大切にしていること、やりがい)、今後取り組みたいこと【WILL】や、仕事を通じて得られたもの(経験・スキル・強み、..)やこれから努力していきたいこと【CAN】、組織から期待されていること【MUST】などを一緒に整理し、それを踏まえて今後のありたい姿(働き方・生き方)をQさんに考えて頂きました。

気づきを与え、語らせる

その結果面談の最後にQさんから以下のような話がありました。

Qさんからのお話



- ・相談する前は、外回りの営業は残業時間が多いと思っていたが、システムなどを上手く使っている営業は、仕事の効率が良く残業時間は少ないことに気づきました。
- ・これからの自分の働き方を考える為に、私の経歴を振り返り、自分にとってのWILL、CAN、MUSTを整理することの大切さが分かりました。
- ・今後、職場の上司と「営業部門の今後の方針や私への期待」などについて相談した上で、自分のキャリア・プランを検討したいと思います。



キャリアカウンセラーの役割

キャリアカウンセラーは、相談者が自分のキャリア(働き方、生き方)を考えるお手伝い役です。

今回は本人の悩みや希望を受容・共感しつつ、自分の今後のキャリアについて悩んでいたQさんに対して、「第三者」の視点での助言や情報提供等の支援を通じて、Qさんに寄り添ってキャリア不安の解消に努めました。

このように、相談のきっかけや悩みの内容を尋ねながら(問いかけ)、本人の話(悩み・大切にしたい事..)を良く聴き(傾聴)し、ときには第三者の視点にたった問いかけや情報提供等をしてしながら、本人にとって望ましい今後のキャリアについて一緒に考え(対話)、相談者のキャリア・プラン作りを支援する(気づきを与える)のが、キャリアカウンセラーの役割といえます。

～あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます～

働く私たち自身が自らの手で自分らしい生涯を作り出していくために、「電機連合キャリアデザインセンター」では経験豊富なキャリアカウンセラーが電話相談に応じ、あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます。プライバシーもしっかり保護されますので、安心してご相談下さい。

～キャリアについて、あなたの？を気軽にお話し下さい～



三田勝彦 先生

情報通信システムメーカーに35年勤務しシステム営業や販売促進業務に従事。キャリアコンサルタント資格取得後は東京商工会議所にて、従業員のキャリア形成を支援する「セルフ・キャリアドック制度」の普及を担当し、1000名以上の経営者や従業員向けのセミナー講師やキャリアカウンセリングの経験を持つ。現在はカウンセリングを通じた働く人の就職・転職・キャリア支援と、企業内キャリア開発セミナー講師として活動中。

無料電話相談(1週間前の事前予約制)

対象

組合員本人とその家族
(配偶者・子ども)

時間

最長50分

原則

毎週水曜日(祝日、年末年始を除く)
17:00～20:00

<https://www.jeiu.or.jp/wlb/jitsugen/cat1/>

電機連合キャリアデザインセンター

検索

